

～工務店とは～

文：山田加容子

「大工」のイメージというと、年配者、寡黙、危険そう…等、決して華やかな仕事ではありません。また、今の子供たちの、将来なりたい職業ベストテンもここ10年はランクインしていたのに、2023年には「大工」はなんとランク除外だそうです。

そうなった背景には、職人の高齢化や注文住宅の減少により、建築現場を目の当たりにする機会が愕然と減っているのでしょうか。上棟式に屋根に上がって木槌を振り上げる姿はかっこいいのですが…。あるリサーチ会社のランク外理由に「大工」という職業自体がわからないという回答もあるようです。ウーン…。そこまで時代は変わってきているのでしょうか？何とも切ないばかりです。弊社として出来る事は、「工務店=大工」の関係性を後世に残せるよう努めるばかりです。

暮らしのコラム

「先手必勝」の花粉症対策

今年もそろそろ花粉の飛散シーズン。くしゃみや鼻水、目のかゆみなど、毎年のように悩まされている人も多いのではないでしょうか。花粉が引き起こすつらい症状を緩和するには、まず花粉について知ること、そして、日常生活のなかでだけ花粉を避けることが大切です。

今回は、花粉シーズンにやっておくべき対策をまとめました。

内服薬は花粉症の症状が出る前に！

花粉症によるアレルギー性鼻炎は、一度症状が出てしまうと鼻の粘膜がどんどん敏感になります。症状が強く出やすくなってしまいます。症状が出る前から薬をのむなどの対策をとり、粘膜を過敏にさせないようにしましょう。

基本的に薬は症状が出た時に使うもので、予防としては使いません。しかし、花粉症については他の病気と異なり、毎年同じシーズンに症状が現れることが分かっていて、原因もはつきりとしています。そのため、薬による初期予防治療が認められています。花粉症のシーズン前に薬をのみ始めれば、発症を遅らせたり、軽い症状で抑えたりすることができます。

花粉情報をこまめにチェックし、飛散時期が来る前に診察を受け、症状に応じて処方してもらいましょう。

外出するときは、目や鼻をガードする

いざ花粉が飛散し始めたら、花粉から身を守る必要があります。外出するときは、マスクやメガネを付けましょう。

外出するときは、服装にも気をつけましょう。例えばウールのコートや毛羽立つたマフラーなどは、花粉が付着しやすく、花粉を家のなかに持ち込んでしまう可能性があります。木綿や化繊でできた、すべすべした表面感のコートや衣類がおすすめです。

室内に花粉を入れないよう注意する

外ではがっちりガードをしていて平気だつたけれど、帰宅したとたん、くしゃみや鼻水が止まらなくなるという人も少なくないのでは？ もしかしたら、花粉が室内にも侵入してきているかもしれません。

室内の花粉対策は「花粉を外から持ち込まない」がポイントです。

「持ち込まない」ための対策としては、外出先から帰宅したら、衣類や髪の毛についた花粉をよく払い落としてから室内に入る習慣を付けましょう。そして、うがい・手洗い・洗顔を行い、目や鼻、のどの粘膜についた花粉を除去します。この時期の洗濯物は、できるだけ部屋干しに。外に干したときは、花粉をよく払い落としてから室内に取り込みます。花粉が飛散するシーズンは、日常生活のなかで花粉にできるだけ触れないよう、工夫していくことが大切です。